

福祉委員の皆さんへ

少し専門的な「活字とお願い」を致しますが、ご容赦頂きながら以下に目をやって頂ければ・・・と？

「**通いの場？**」・「**通いの場？**」と、これまでに「**しつこい？**」・「**くどい**」程、これまでの「**だより**」に記載してきましたが、以下の法律の執行を国民全体に、また一人でも多くの人に知ってもらいたい？。実行してもらいたい。と躍起になっている厚労省が下記の条文を作っていますので。その指示で今回は平素町内で福祉のお世話を願っている福祉委員さんに・・・ご覧頂きたくて・・・以下グラフやデータの羅列をしましたので

介護保険法（第四条）

国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、**要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする。**

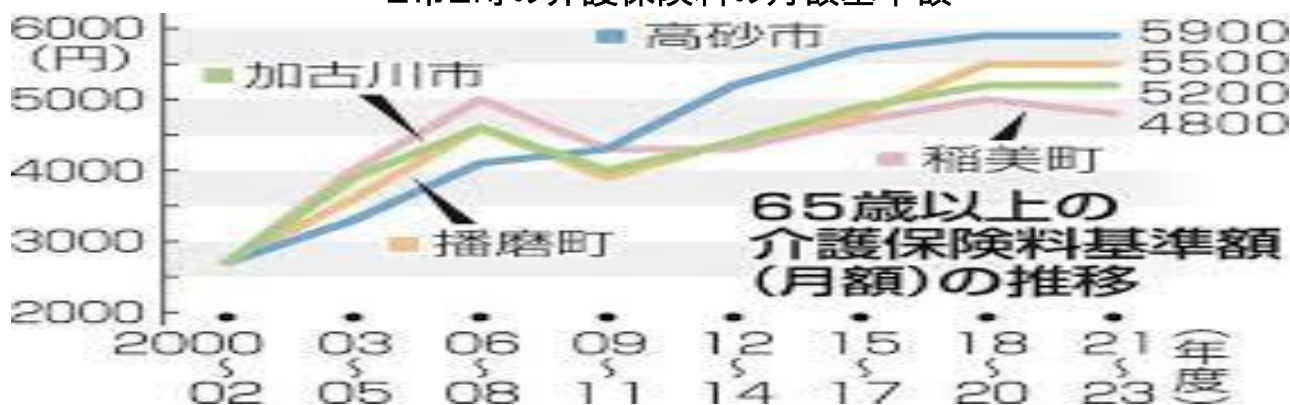
全国 第1号被保険者数の推移 (単位 千人)

区分	H12年	H22年	令和2年	令2÷H12
65~75 未満	13,192	14,827	17,462	1.32 倍
75 歳以上	9,231	14,283	18,326	1.98 倍
計	22,422	29,110	35,788	1.59 倍

◎上記は介護保険 2,000~2,010~2,020 各年の数字 ◊
◆右側は総人口=2011~2021 年迄の人口推移 ◊
全人口は減少・被保険者数は増加??。



=2市2町の介護保険料の月額基準額=



☆?、第4期より高砂市が高額になっています??。

(参考)全国介護保険料各期の基準額(単位、円)

各期	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	8/1
平均保険料	2,911	3,293	4,090	4,160	4,972	5,514	5,869	6,014	約2.1倍

「20~30分は**身体を動かす?!**・**散歩する?!**」を・・・

前頁をご覧になると高齢者が増加し、若い人が減少している現象が現れ高齢者の医療・介護の保険金がどこから出るのか？。出て来るのか？。???. **予算がどこにあるのか？・？。**

だから。 **足腰の丈夫な高齢者！？。**いつまでも **元気な高齢者**を

厚労省が懇願しているので？。

その裏には **1,250兆円**の国債（借金）を背負って

大蔵省はやり繰りをしているって聞きますがね??。

そんな事情を考え「通いの場」で、「体を動かし・頭を使い」？、体を丈夫に？・・・

少しの時間を惜しんで**体を動かして**くれる**健常者を求めている**のです???

故に寸・分を惜しんで時間を「遣り・繰り」してでも

20~30分は身体を動かす?!・散歩する?!も・・・

求めています？。厚労省や大蔵省が??。



高齢者は加齢に比例して体力が衰えていく?。

その衰えを「1日でも遅く」・「衰えを阻止できれば！

その方法として「通いの場」で色々

工夫して体力の維持・持続を願っているのが本旨です。

そこで、各地の「通いの場」では、地域の特色を生かした様々な取り組みが進められて?、・・・

例えば「体操」、「グラウンド・ゴルフ?」、「茶話会」、「趣味活動」、「農作業」、「ボランティア活動」、「多世代交流」や「オンラインを使った通いの場」など・・・と、並べましたが、改まって上記の種類だけでなく、何か「体」を毎日動かしている人々は、「**それだけでも充分**」だと思います。

「**最悪**」と言われる**姿**は、テレビを見ながら炬燵に足を入れ、「ムシャ・ムシャ口を動かす?」だけの1日と言うのが**最悪の状態**と言われるでしょう?。

☆ 保険の利用者を減らし、保険料減少に知恵を絞った一つ?の「通いの場」は「体力維持・増強」

それが経費節減の**目的!!!**?

しかし、コロナ渦で「通いの場の**休止**」が叫ばれて「通いの場の活動」が休止状態で現在も動きが鈍い??のが大多数?。



再度、福祉委員の皆さんへ

心やすい方々へ・「身近な知人・友人」の「**雑談の中で**」・「**グループで寄った時**」

等に「体を少しでも動かして」「**高齢化する体力を衰えさせないで持続させる。**」ことを、お願いしてもらえたと願いながら・・・。

本紙は終わり。

.....

令和元年(2019)9月「支え合いだより」1号から、何故「通いの場」を作らなければならないのかを「活字を羅列」しましたが、厚労省が介護・医療保険の財源が「先細り?」になり?「前途多難の予想で?・・・」という事で「回覧」と「福祉委員にはお願い」を、一方的に配布・回覧をいたしました事、お許しください。本当に有難うございました。

今後は新役員で組織の運営を行いますので、何卒よろしくご協力をお願いし挨拶に・・・。

(野々村 康吉)